



広陵町

No.113

令和3年5月1日



議会だより



予算を審査 何に使うの？

目次

P2	就任のごあいさつ
P3	常任委員会・議会運営委員会
P4	議会News
P5	地域のつながり
P6	令和3年度予算審査
P9	コロナワクチン接種Q&A
P10	提出議案・意見書
P14	一般質問
P28	委員会の窓

吉村 裕之議員が議長に 副議長には八尾 春雄議員



議長
吉村 裕之



副議長
八尾 春雄

就任のごあいさつ

町民の皆さまには、平素より町議会へのご理解とご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。
私たちは、このたびの町議会臨時会におきまして、議長、副議長に就任いたしました。身に余る光栄でありますとともに、その責任の重さを深く感じております。

新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが一向に見えない中、本町におきましても町民の皆さまの日常生活や経済活動、そして子どもたちへの教育や健康二次被害など、様々な課題に対して皆さまの声を町政に反映させていくことが一層求められております。このため町議会は、様々な喫緊の課題に対して的確、迅速に対応するとともに、更なる住民福祉の増進と地域の活性化に向け、誠心誠意取り組んでま

いります。

また、二元代表制(町長・町議会)のもとで、住民全体の立場に立った「具体的な政策の最終決定」と、決定した政策を実行する「執行機関(町長)の行財政運営」に対する批判と監視という、議会の二つの使命を果たすように努めます。

更に、地方自治法をはじめとする法令、及び広陵町議会基本条例、広陵町政治倫理条例等を遵守した、民主的で適切な議会運営に努めてまいります。

町民の皆さまにおかれましては、今後とも町議会の活動に注視していただき、より一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつと致します。

令和 3 年

第 1 回

臨時会

4月15日

臨時会が、4月15日に招集されました。
案件3件等が提出され、原案のとおり同意、可決しました。
また、議長・副議長などの役員改選が行われました。

人事

☆町監査委員の選任

町監査委員のうち、議会議員から
さかのよしひろ
坂野佳宏議員(大字大塚)を選任することに同意しました。

常任委員会構成決まる

一定部門の事務に関する調査及び議案、陳情等の審査を行うために、総務文教委員会と厚生建設委員会の常任委員会があります。また、議会を円滑にするために、議会運営委員会が設置されております。

総務文教委員会

〈主な所管事項〉
行政一般、財政及び他の委員会に属さない事項を審査



委員長
谷 禎一



副委員長
山田美津代



委員
岡本 晃隆



委員
吉村 裕之



委員
山村美咲子



委員
笹井 由明



委員
千北 慎也

厚生建設委員会

〈主な所管事項〉
社会福祉、保健衛生、労働その他厚生一般に関する事項及び土木、耕地、都市計画その他建設一般に関する事項及び商工、観光、上下水道事業に関する事項を審査



委員長
吉村真弓美



副委員長
坂口 友良



委員
八尾 春雄



委員
岡橋 庄次



委員
青木 義勝



委員
坂野 佳宏



委員
堀川 季延



委員 委員 委員 委員 副委員長 委員長
岡本 山田美津代 堀川 坂口 千北 山村美咲子
晃隆 美津代 季延 友良 慎也

議会運営委員会

議会 News ニュース

新型コロナウイルス感染症対策 町長に緊急要望書を提出!!

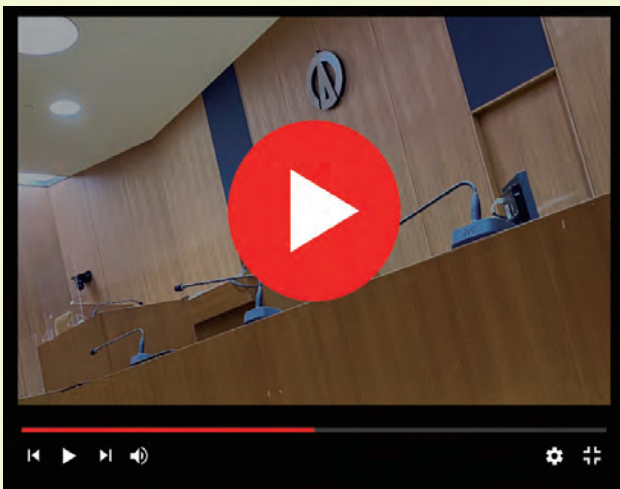
新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが一向に見えず、町民皆さまの日常生活への影響は大きくなるばかりです。

そのような状況下において、感染症がもたらす家計への負担を少しでも軽減できる対策を講じるよう、3月26日、町長に対し新型コロナウイルス感染症対策として3度目の緊急要望書を提出しました。



内容は、家計支援の一助となるよう「生活支援特別定額給付金(仮称)」として町民一人につき**1万円**の給付および各世帯への町指定ごみ袋の無料引換券の配布の早期実施に向けた予算措置を講じるよう要望しています。

オンライン議会報告会開催 **広陵町議会初!**



新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により開催ができなかった議会報告会を以下のとおり、オンライン開催します。

- <日時> **5月22日(土) 19時**～
- <視聴方法> 広陵町議会公式 YouTube
- ↓視聴 URL ↓ または、ホームページから



●報告内容●
クリーンセンター操業停止後の広陵町のごみ処理行政について、現状と今後の課題を報告します。

パソコンから 広陵町ホームページ → 行政情報 → 議会報告会

第11回

地域のつながり

町内で活動している団体やサークルを紹介します。(活動団体は、営利活動を目的としない公共性・公益性が高いボランティア的な団体を掲載しています。)

杜鵑草(ほととぎす)

私たちは「心身共に健康なひと・まちづくり」を願って活動しています。

具体的な活動

美を通して ところに潤いと安らぎを与え、より美しく、幸せな生活を送っていただけることを願って・・・

役場の町長室・玄関・トイレ等に、お花の生け込みをしています。



美を通して 児童の感性や情操を養い、豊かな心を育てることを願って・・・

放課後子ども育成教室
夏期学習「お花を飾ろう」の講師をしています。

また、MOA美術館広陵町児童作品展への協力をしています。



▲放課後子ども育成教室



▲広陵町立図書館

美を楽しみながら 私たちに本来備わっている自然治癒力を活性化させ、心身共に健康になっていただくことを願って・・・

毎月1回、広陵町中央公民館でMOA健康セミナーを開催しています。(現在は、新型コロナウイルス感染予防の為に休止中)

「美術文化法」

ご自分で選んだ一輪の花を活けて鑑賞し、その後、一服の御抹茶で心と体を癒していただきます。

「生体エネルギー療法」

大自然のエネルギーを活用して、体内の不純物の排泄を促し、自然治癒力を高めます。



これからも

私たちは、感謝と思いやりあふれる、あたたかいコミュニティづくりにつながっていくことを願って活動していきます。「杜鵑草」の活動に興味がある方・ご参加いただける方は、お声掛けください。

「杜鵑草」代表 **濱崎 季与子** (☎0745-55-2237)
(午後5時以降でお願いします)

予算審査

質疑

ここが聞きたい

特別委員会

一般会計

125億
4,000
万円

歳入

問 たばこ消費税の増額理由は。

答 本数の減少に対し毎年10月の値上げが進んでいることから微増となった。

問 有資源回収売却金の減額理由は。

答 コロナ禍の影響により資源の単価が下がっていることによるもの。

総務費

問 自衛官募集事務委託金の計上理由は。

答 名簿閲覧について、防衛省からの依頼に対し対処している。

問 携帯メール利用料の使用目的は。

答 災害情報を全職員に一斉通知するため。

問 ふるさと納税関係費の委託先は。

答 「ふとふる」と広陵町産業総合振興機構(なりわい)で、比率としては3対7としている。

民生費

問 総合保健福祉会館ESCOS事業の内容は。

答 CO2の削減量、光熱水費の削減等の指標をもとに、事業者からの提案に基づき効果検証を行うもの。

問 心の健康相談における弁護士役割は。

答 毎月無料の法律相談をしており、様々な法制部分の相談も請負って頂いている。

問 老人クラブ活動等補助金の増減理由は。

答 老人趣味の会ではクラブ数の減少により減額となり、老人クラブ連合会では研修等の増加により増額となっている。

衛生費

問 石綿読影精度にかかる調査委託金の内容は。

答 肺がん検診のレントゲンを利用し石綿関連疾患が発見

できる体制を整備するもので、費用は全額環境省が負担する。

問 老朽空家等除却補助金の内容は。

答 1件50万円を上限とし4件分の補助金200万円を計上し、危険空家解体費の一部を支援する。

農商工費

問 タウンプロモーション事業委託料の内容は。

答 広陵町産業総合振興機構(なりわい)に委託するもので、いちごイベントやその他のイベントについても共に進めていく。



問 弁財天地区土地改良事業の現況は。

答 現在ファブリダムの工事はほぼ完了しており、新年度は畦畔除去を予定し、広範囲農地の整備を図る。

土木費

問 竹取公園周辺地区計画策定事業についてパークPFIや指定管理者制度といった考えはあるのか。

答 指定管理者制度については、公園全体の指定管理が可能かを事業者と相談しているが現状では難しいと聞いている。一部分の指定管理について検討していく。

問 ブロック塀等撤去工事補助金の実績と減額理由は。

答 撤去件数は令和元年度2件、令和2年度1件と少なく、令和3年度においては5件を見込み計上した。

教育費

問 学校支援地域本部事業の内容は。

答 見守り等の学校支援ボランティアの活動で奈良県における学校・地域・パートナーシップ事業がこれにあたる。また、通学合宿は東小学校で地域の協力を得て行う。

問 電子図書の利用状況は。

答 令和2年度の利用者数は330人程度で、貸出冊数はコロナ禍前と比べると3倍ほど伸びている。

国民健康保険特別会計

36億
3,880万円

問 令和6年度の県単位化で保険料が上がると危惧するが増額の見込み、またデメリットは。

答 所得割額として1.88%上昇の予定。均等割、平等割は差が出ないと想定する。高所得者の上昇率は10%までに収まる見込みで、デメリットは町独自の減免制度が適用できなくなる。

後期高齢者医療特別会計

4億
6,700万円

問 滞納繰越分普通徴収保険料について納税者はどのような方か。

答 年金額が低い高齢者の方が滞納せざるを得ない状況にある。

介護保険特別会計

26億
502万円

問 相談支援委託事業の実績は。

答 令和2年度はコロナ禍の影響で開催できず、日々の地域包括支援センター内で認知症の相談を受けた。

問 社会資源把握支援サービスシステム構築委託料の内容は。

答 ケアマネージャーがケアプランを立てる際に、医療機関、他の介護事業所の入居状況、シヨートステイの空き状況、通いの場等の情報収集ができるシステム構築にかかる委託料である。

墓地事業特別会計

2,170万円

問 合葬墓の納骨数と予約件数、周知方法は。

答 現在19体の納骨があり生前予約は17件、墓地返還後合葬墓に移行されたのは5件。周知については、引き続き広報、ホームページの掲載と今後、案内板の検討もしていく。

学校給食特別会計

3億
1,520万円

問 残食率の推移は。

答 大幅な献立改善と残食率の傾向を見ながら、改善を行った結果、令和2年度6月から12月の6校（給食センター分）平均の残食率が10.7%、昨年度は13.1%で2.4%の減少となった。



▲石塚霊園合葬墓

予算審査特別委員会



委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
青木 義勝	岡本 晃隆	吉村 眞弓美	吉村 裕之	山田 美津代	堀川 季延	笹井 由明

令和3年度一般会計予算を可決

このようなことに使われます

予算額125億4,000万円

広陵放課後塾の開設運営事業

地域の学力指導に係る経験豊富な人材を活用し、平日の放課後に児童の学力及び学習意欲の向上を図り、地域教育の強化に資するため、広陵町学力向上推進支援事業の一環として各小学校において「広陵放課後塾」事業を実施する。

144
万円

西谷公園整備事業

老朽化した施設について、民意を反映した施設更新整備や管理を行う。公園施設整備に伴い、防災公園化を図る。

7,600
万円



ICT支援員設置事業

学校教育の場において、ICT活用を推し進めるべくICT支援員を設置し、授業への活用方法など教職員へ支援する。

265
万円



竹取公園周辺地区の整備計画策定事業

竹取公園周辺において、様々な人々が交流できるとともに、馬見丘陵公園と連携し、賑わいが創出されるよう具体的な個別事業を計画、実施する。

987
万円



総合保健福祉会館ESCO事業

総合保健福祉会館の管理運営を円滑に行うため、老朽化した空気調和設備を、省エネルギーの観点も踏まえ、ESCO事業により一括更新を行う。

1億
5,000
万円



西校区認定こども園整備事業

広陵西幼稚園、広陵西第二幼稚園を廃園し、民設民営の認定こども園を整備する。

4,501
万円

新型コロナウイルスワクチン接種事業

感染症まん延予防対策を万全なものとし、新型コロナウイルスワクチン接種順位の指示に従い、必要なワクチンを確保次第円滑な接種を順次実施する。

8,880
万円

一般不妊治療費助成事業


不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図り、少子化対策の一環とする。(1人 上限5万円)

50
万円

65才以上の方の 新型コロナウイルスワクチン接種 **Q & A**

Q 誰から接種してもらえますか？

A 各高齢者施設に入所している方々から施設で接種します。90歳以上で在宅等の方々は、さわやかホールで接種します。




Q アレルギー症状が出たときはどうしたらいいですか？

A 接種会場では複数人の医師が待機し、接種後15分から30分経過を見てからご帰宅いただくよう体制が整えられています。


Q いつから接種してもらえますか？

A 接種体制が整い次第、5月10日の週から順次、接種を行います。




Q 介護が必要です。接種会場ではどうしたらいいですか？

A 付き添いの方の同伴も可能です。




Q どのように接種してもらえますか？

A まずは、接種券が届きます。次に、予約方法、予診票などの接種案内が届きます。コールセンターに予約をします。予約当日、接種券を持参し、接種します。



Q 1回目と2回目の接種の間隔はどのくらい開けたらいいですか？

A 通常1回目の接種から3週間後に2回目の接種を受けます。



Q 接種会場に行けないときは、どうしたらいいですか？

A 予約時に相談してください。タクシー等での送迎が検討されています。

Q 何か分からないことがあったときは？

A コールセンターまでご相談ください。

Q かかりつけ医でも接種してもらえますか？

A 基本的に、集団接種となります。かかりつけ医での個別接種については、検討中です。

広陵町新型コロナウイルスワクチン接種相談窓口（コールセンター）
☎0745-55-6633

◆受付時間
平日8:30~17:15
(土曜日、日曜日、祝日を除く)



※国からの情報によりスケジュールや内容などに変更が生じる可能性があります。

令和3年3月定例会提出議案

議案第7号

広陵町国民健康保険条例及び広陵町介護保険条例の一部を改正することについて
「新型コロナウイルス感染症」の定義が法改正されたことにより、引用する条例の所要の改正。

議案第8号

広陵町介護保険条例の一部を改正することについて
第8期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画策定に伴う、介護保険料率等の所要の改正。基準となる第5段階で月額5,600円。

議案第9号

広陵町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例等の一部を改正することについて
「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令」が公布されたことに伴い、関係する4条例の所要の改正。

議案第10号

広陵町消防団条例の一部を改正することについて
消防団員の資格に係る任用要件の見直しにより、団員不足の解消を図るための所要の改正。本町内に勤務する者も有資格者とする。

議案第11号

職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例等に規定する休日の特例に関する条例の廃止について
昭和天皇の大喪の礼の行われる日を職員の休日とする条例を廃止するもの。

議案第12号

昭和57年度固定資産税の納期の特例に関する条例等の廃止について
特定年度において固定資産税の納期の特例を設けていた10条例を廃止するもの。

議案第13号

令和2年度広陵町一般会計補正予算(第10号)
不用額の減額及び交付税・交付金の増額など 歳入歳出386,615千円の追加。

議案第14号

令和2年度広陵町学校給食特別会計補正予算(第3号)
新型コロナウイルス感染症による学校休業中の給食未実施 歳入歳出29,000千円の減額。

議案第15号

令和2年度広陵町下水道事業会計補正予算(第2号)
消費税の増加等による収益的収支の補正並びにストックマネジメント調査及び流域下水道建設負担金による資本的収支の補正。

議案第16号

令和3年度広陵町一般会計予算

議案第17号

令和3年度広陵町国民健康保険特別会計予算

議案第18号

令和3年度広陵町後期高齢者医療特別会計予算

議案第19号

令和3年度広陵町介護保険特別会計予算

報告

報告第1号

公用車物損事故による損害賠償額の決定に係る専決処分の報告について

報告第2号

令和3年度広陵町土地開発公社予算について

報告第3号

令和2年度広陵町一般会計補正予算(第9号)の専決処分の報告について
全額国庫補助による新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター費用 歳入歳出27,448千円の追加。

議案

議案第1号

広陵町自治基本条例の制定について
持続可能な地域社会を形成するため、まちづくりの主体となるすべての人が参画と協働によるまちづくりを担い進めていく際の基本ルールを定める。
総務文教委員会の閉会中の継続審査について
「議案第1号 広陵町自治基本条例の制定について」を、審査不十分であるため閉会中もなお継続審査を要するものと決定したものを。

議案第2号

広陵町総合計画審議会設置条例の制定について
総合計画並びに総合戦略の策定及び実行に関し審議するため、12人以内で構成される附属機関の設置を定める。

議案第3号

広陵町教育振興基本計画等策定委員会設置条例の制定について
教育振興基本計画その他教育に関する重要な計画又は方針を策定するため、15人以内で構成される策定委員会の設置を定める。

議案第4号

広陵町たたらん煙(受動喫煙)から健康を守る思いやり条例の制定について
望まない受動喫煙の防止を図り、町民の健康で快適な生活の維持を図るために制定するもの。路上喫煙禁止区域において命令に従わなかった者は1,000円の過料。

議案第5号

広陵町立幼稚園預かり保育条例の一部を改正することについて
春期、夏期及び冬期休業日においても、就労等で預かり保育を必要とする保護者のニーズに応えるべく、預かり保育を実施するための改正。

議案第6号

広陵町子ども・子育て会議条例の一部を改正することについて
会議の所掌事務に子ども・子育て支援法に掲げる事務のほか、家庭的保育事業等の認可及び公私連携法人の指定等に意見が述べることができるとしたものの。また幼保一体化推進会議を廃止し、当会議に引き継ぐもの。

議案第27号

広陵町都市計画マスタープランの一部を改訂することについて

「にぎわいのあるまちづくり」の実現に向け、当該地域を竹取公園周辺拠点に、都市軸を上田部・奥鳥井線に位置づけるため改訂するもの。

議案第28号

奈良県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び奈良県市町村総合事務組合規約の変更について

令和3年3月31日をもって葛城広域行政事務組合が解散することによる所要の変更。

議員提出議案第1号

広陵町議会会議規則の一部を改正することについて

傷病、出産、育児、介護など議会への欠席事由の整備、出産に係る産前・産後の欠席期間の規定及び請願書の記載事項等における所要の改正。

議員提出議案第2号

予算審査特別委員会の設置に関する決議について

令和3年度の各会計予算を審査するにあたり特別委員会を設置する。

議員提出議案第3号

国民健康保険制度の国庫負担増額を求めるために、奈良県知事の一層の尽力を要望する意見書について

議案第20号

令和3年度広陵町墓地事業特別会計予算

議案第21号

令和3年度広陵町学校給食特別会計予算

議案第22号

令和3年度広陵町水道事業会計予算

収益的支出 8億6,588万1千円
資本的支出 1億9,377万5千円

議案第23号

令和3年度広陵町下水道事業会計予算

収益的支出 10億6,749万9千円
資本的支出 7億904万円

議案第24号

百済赤部線東工区その2道路改良工事に係る請負契約の締結について

工事に係る請負契約の金額57,537,700円。

議案第25号

広陵町第8期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画を定めることについて

令和3年度から令和5年度までの3年間の介護保険事業計画及び高齢者福祉計画を定めるもの。

議案第26号

広陵町第6期障がい福祉計画及び広陵町第2期障がい児福祉計画を定めることについて

令和3年度から令和5年度までの3年間の障がい福祉計画及び障がい児福祉計画を定めるもの。

国民健康保険制度の国庫負担増額を求めるために、奈良県知事の一層の尽力を要望する意見書

国民健康保険は、1958年制定の国民健康保険法によって、健康で文化的な最低限度の生活を保障する日本国憲法第25条を医療面で具体化し、国民皆保険制度を実現するものとして制度化されました。

この制度には、被用者保険の事業主負担にあたるものがないため、国が国庫負担を定めています。制度制定以降1984年までは「かかった医療費の45%」が国庫負担であったものが、徐々に引き下げられ、さらに事務負担金の国庫補助が廃止されるなど、現在では、市町村国民健康保険の総収入に占める国庫負担の割合は4分の1程度にまで減っています。この結果、地方自治体は被保険者負担を引き上げざるを得ず、払いたくても支払いが困難となっている世帯が増えています。

こうした中で保険料負担率を被用者保険並みに引き下げよう、貴職も加わる全国知事会が1兆円の国庫負担増額を求めていることは重要なことです。国は保険者支援制度の拡充など財政支援を強めましたが、求められている水準から比べるとまだ不十分な水準です。

よって、当議会は、国の責任で国民皆保険制度を支えるべきであることから、国民健康保険制度の国庫負担増額を強く求める所であり、特に焦点になっている子どもに係る均等割保険税(料)の廃止を求めて、貴職が一層尽力されることを要望するものです。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和3年(2021年)3月24日

奈良県広陵町議会

奈良県知事 荒井 正吾 様

令和3年3月定例会 議案採決状況一覧 (○賛成 ×反対)

※採決が分かれた議題のみを載せております。

議案	坂口友良	堀川季延	千北慎也	山田美津代	笹井由明	山村美咲子	坂野佳宏	谷 禎一	吉村裕之	吉村眞弓美	岡本晃隆	青木義勝	岡橋庄次	八尾春雄	議決結果
議案第4号	○	○	○	×	○	○	議長は採決に 加わりません。	○	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第8号	×	○	○	×	○	○		×	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第16号	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第17号	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第18号	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第19号	×	○	○	×	○	○		×	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第21号	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	○	○	×	原案可決
議案第25号	×	○	○	×	○	○		×	○	○	○	○	○	×	原案可決

反対

議案第8号

一部を改正することに
ついて

・住民が関心のある介護保険料の値上げの金額が、パブリックコメントに提示されてなかった。意見・情報・改善案など広く住民の意見を求める手続きに問題がある。

・コロナ禍で料金値上げは避けるべきだ。高額所得者に対する新たな料金設定も考えるべきだ。

賛成

受動喫煙は、肺がん、虚血性心疾患、脳卒中、乳児突然死症候群等の発症の要因に深く関わっており、健康に悪影響を及ぼすことが明らかである。受動喫煙の防止を図ることにより、町民の健康で快適な生活の維持に寄与する。

反対

議案第4号


広陵町たたらん煙（受動喫煙）から健康を守る思いやり条例の制定について

禁煙エリアを設け2年程度の猶予期間を設定してもなお喫煙者があるのなら過料を課すことも検討したらいが、条例制定と同時にあれば喫煙者の協力も得られない。ネーミングも二重の理解があり不適切だ。

議会の傍聴にお越しく下さい!

新型コロナウイルス感染防止対策を実施しております。

マスク着用のうえ、手指消毒と検温にご協力をお願いします。



町議会本会議は、役場3階の議場で、3月、6月、9月、12月の年4回開かれます。次回は6月に町長選挙があるため、開催日は未定です。日程については、議会事務局までお問い合わせください。ホームページにも記載予定です。

<p>反対</p> <p>保険税の改定など県からの圧に負けず頑張ってくれたことは評価するが、払いたくても高くて払えない世帯が多い今の保険税の国保会計に賛成はできない。</p>	<p>賛成</p> <p>町長の任期満了に伴い骨格予算で編成しているが、重要な継続事業や新型コロナウイルススワクチン接種などの生活に関わる経費が多く盛り込まれた予算となっている。</p>	<p>反対</p> <p>自衛隊へ名簿提出を拒否している自治体がある中で町は協力している。またデジタル関連法案に様々な問題点がある中、予算に組み込まれていることは町民の側に立った予算ではない。</p>	<p>賛成</p> <p>策定委員会において、保険料等記載せずにパブリックコメントに諮る旨が伝えられ、特に反論もなかった。しかし、パブリックコメントには保険料も記載するようにしてほしい。</p>	<p>賛成</p> <p>・高齢化が進んでいく本町の実態を踏まえ、年々増加する介護サービス給付費を確保するための保険料改正であり、低所得者に配慮されたものとなっている。</p>
<p>議案第17号 令和3年度広陵町国民健康保険特別会計予算</p>		<p>議案第16号 令和3年度広陵町一般会計予算</p>		

<p>賛成</p> <p>1億1千万円の基金投入で、ぎりぎりまで絞り込んだ給付となっていることは評価できる。介護予防においても、KEEPはつらつ教室や、通いの場にも力を入れ、少しでも給付費の抑制に取り組もうとする努力がうかがえる。</p>	<p>反対</p> <p>コロナ禍で生活が大変な中、施設が増え入所者が増えると予想されることでの400円(基準額)の値上げは過大な見積もり。</p>	<p>賛成</p> <p>高齢者医療費が増大する中、現役世代と高齢者世代の負担を公平にして、国民皆保険制度を持続可能とするための必要な見直しである、保健事業にも配慮されている。</p>	<p>反対</p> <p>2年ごとに保険料が上がり高齢者の負担は増すばかり。その上去年度から医療費窓口負担2割と倍になる改悪案が導入され、コロナで受診控えが多い中、もっと受診抑制が加速されてしまう。</p>	<p>賛成</p> <p>全国の市町村長や議会が、財政支援をはじめ必要な措置を講じるよう国に強く要望しており、本町として現行の法律や制度、限られた財源の中で、保険給付や保健事業にできる限りの対応を図っている。</p>
<p>議案第19号 令和3年度広陵町介護保険特別会計予算</p>		<p>議案第18号 令和3年度広陵町後期高齢者医療特別会計予算</p>		

<p>賛成</p> <p>本町の高齢化率の上昇、団塊の世代が後期高齢者として迎える令和7年を見据えながら、介護予防等の更なる充実に向け、利用者の利便性を図るものである。</p>	<p>反対</p> <p>・住民参加の策定委員会で計画を立てているが、保険料の住民の意見が無い。</p>	<p>賛成</p> <p>・制度創設以来21年を経過し、サービス内容の後退と料金引き上げが進行している。町民の暮らしを守るための方策を考えて国に対してしかるべく要望してほしい。</p>	<p>賛成</p> <p>学校給食は、子どもたちすべてに、安心安全な食を提供することを目的として、最低限必要な財源により、実施されている。コロナ禍で、今までの以上の配慮をしながら、安心安全な給食の提供を願って賛成する。</p>	<p>反対</p> <p>令和3年度は給食費支援は行わないとコロナ禍での子育て世帯に冷たい姿勢。中学校給食残食数も減ってきてはまだ10%と小学校より3倍多い。配膳体制の改善も検討されない。</p>
<p>議案第25号 広陵町第8期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画を定めることについて</p>		<p>議案第21号 令和3年度広陵町学校給食特別会計予算</p>		

町政を 問う



一般 質問

吉村 裕之 議員 (15 ページ)

- E B P M(証拠に基づく政策立案) の導入
- 第 5 次総合計画の策定と行財政改革について

坂口 友良 議員 (16 ページ)

- ワクチン接種時に介護の支援を
- 西谷公園の改修と管理棟の運営は
- 特別支援・通級教室の体制は十分か

岡橋 庄次 議員 (17 ページ)

- 新型コロナワクチンの予防接種について
- 高齢者等の見守りシステムについて
- 広陵元気号の運行について

谷 禎一 議員 (18 ページ)

- 竹取公園周辺整備について
- 広陵町の幹線道路の整備について
- 町事業の進捗と結果について

笹井 由明 議員 (19 ページ)

- 令和 3 年度予算編成と財政運営について
- 農業政策について

八尾 春雄 議員 (20 ページ)

- 広報こうりょうの編集方針について
- 箸尾準工業地区開発について
- マイナンバーカードについて

堀川 季延 議員 (21 ページ)

- 新型コロナウイルスワクチンの現状は
- 公立小学校の 3 5 人学級制への移行について

岡本 晃隆 議員 (22 ページ)

- コロナ禍での学校教育について
- 安全なまちづくりに向けた取組について

山田 美津代 議員 (23 ページ)

- PCR 検査を町民が何度も受けられる体制を
- 高齢化による難聴者への支援を
- ジェンダー平等社会への町としての取組は

青木 義勝 議員 (24 ページ)

- 通学時の安全確保の現状と課題
- はしお元気村^新OPENの詳細を
- 北幼稚園跡の長龍酒造(株)の憩のゾーンは

千北 慎也 議員 (25 ページ)

- 食育の現状とオーガニック給食導入について
- 「広陵いちご」のブランド戦略について

吉村 眞弓美 議員 (26 ページ)

- 地域未来構想 2 0 オープンラボに登録を
- KoCo-Biz と社会福祉協議会の連携は

山村 美咲子 議員 (27 ページ)

- 中央公民館建替えについて
- コロナウイルスワクチン接種の体制について

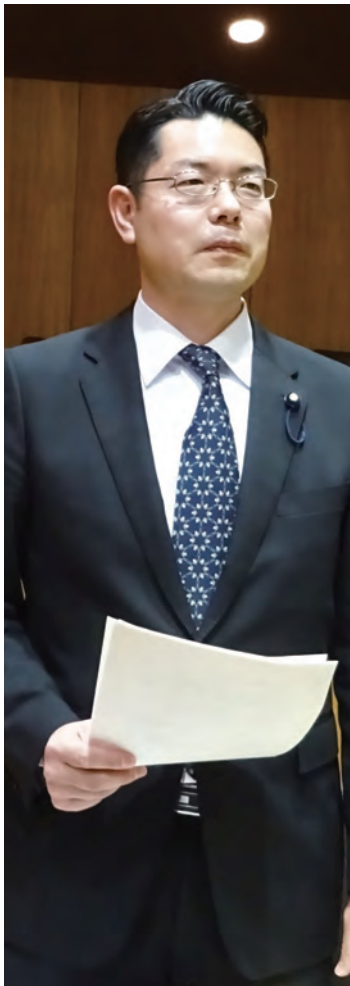
一般質問を 3 月 12 日～ 16 日に行いました。

なお、質問内容及び答弁内容については、紙面の都合上、要約掲載となっておりますので、詳細につきましてはインターネット中継 (QRコード)、または会議録をご覧ください。

会議録は、6 月上旬に町役場及び町施設のサービスカウンターに配置し、広陵町ホームページにも掲載する予定です。

- ①答弁者の「理事者」との記載は、町長、副町長、教育長、関係部次長の発言を要約して掲載する場合に用いています。





よしむら ひろゆき
吉村 裕之

政策立案 EBPM(証拠に 基づく政策立案) の導入

問

- ① 政策形成過程においては、その拠り所として証拠や根拠を示し、筋道を論理的かつ定量的に説明できるよう、EBPMの導入が必要と考えるが見解は。
- ② EBPMには統計データや情報に対する分析力と比較力、そして政策手段の選択力が求められるが、対応できる人材の確保や育成についての考えは。

理事者

① EBPMにより政策形成過

総合計画

第5次総合計画の 策定と行財政改革 について

- ① 程は可視化され、議会答弁、住民説明において合理的な説明が可能となる。今後は政策形成段階から住民参加も想定され、その段階から十分理解できるデータの提供が必要になる。
- ② データの取扱いに関する個人情報保護制度、各種政策に関する法制度、町内の様々な事情等を網羅的に判断する必要があるため、マネージャー候補を育成する仕組みづくりが必要と考える。

理事者

- ① 今までの行政運営のあり方を根本的に見直さなければならぬ時期に至り、新しい町づくりを進めるといいう視点に立つ。
- ② 靴下については、近畿経済産業局の支援のもと、ブラ

問

- ① これから始まる人口急減時代という大きな転換期における第5次総合計画策定への考えは。
- ② 販売戦略における地域ブランドとしての「広陵町ブランド」について。
- ③ 社会の変化が速くなる中、文字で定める改革大綱とは違う形で行財政改革を進められないか。

- ① ンド戦略のアクションプラン作りに取り組んでいる。「本物の魅力を世界のみなさんに伝える」を目標としたブランディングを目指す。
- ② また、2025年大阪・関西万博に向けて支援していく10の地域ブランドに「広陵くつした」が選ばれた。
- ③ 第5次総合計画の策定にあたり、政策マネジメントシートを使い全施策を根本から洗い直し、策定後はPDCAに基づく改革・改善を続けることで、必要なところに必要な財源と資源を投入した施策が進められる。



さかぐち ともよし
坂口 友良

**コロナ
介護の支援を**
ワクチン接種時に

問 ワクチン接種が始まるが、すでに在宅の高齢者から、接種会場までつれていってほしいと依頼を受けている。外出や身の回りの世話、付き添いまで必要になる。医療スタッフだけでは手が足りないと思うので、高齢者、認知症患者、障がい者へのスムーズな対応ができる介護関係者の協力も必要と思うが考えは。

山村町長

さわやかホールを中心として校区ごとに一ヶ所程度の会場を想定し準備中である。移動や会場内での付き添いが必

要となる方の対応なども課題としている。このことから介護関係者の協力は必要不可欠と考える。

**園策
公改修**
**西谷公園の改修と
管理棟の運営は**

問 西谷公園の改修が進み、見違えるような公園に変わりつつある。今年度からは、管理棟の大規模改修計画もスタートする。真美ヶ丘第一小学校区の基幹施設として、また防災・福祉・社会教育の拠点として住民参加の形でつくり上げていきたい。運営準備委員会など立ち上げが必要なのは。

山村町長

第一期としてエントランス部や幼児・児童遊戯広場、見守り休憩スペース等の改修を行い、令和3年度は遊具の設置と管理棟の設計も進める。広陵町自治基本条例の制定を踏まえ参画と協働のまちづくりを進める。

**特別支援
教育**
特別支援・通級教室の体制は十分か

問 令和3年度も多くの特別支援教室や通級指導教室の利用希望者がある。加配を望む保護者も多い。本町の公教育、特別支援教育体制は素晴らしく、学習支援員や指導員、放課後塾など総合的な学習向上支

援策は着実に進んできた。今年度の特別支援教育の体制はどうか。

植村教育長

特別支援学級の入級生は年々増加し、平成28年度の2.9%から令和2年は4.9%に増える。通級指導教室も17人から始まり令和3年度は39人の予定となる。そのため北小学校に新設し、体制づくりを進めている。



おかはし 庄次
岡橋

新型コロナ対策 新型コロナワクチンの予防接種 について

問

① 町民への分かりやすく丁寧な情報提供(例えば、FAQへよくある質問)のような形式で)をお願いしたい。
② 表題についての、町長から町民へのメッセージをお願いしたい。

山村町長

① 早期にコールセンターを設置するとともに、ホームページなどにより、情報提供に努める。
② ワクチンは発症予防や重症化防止が期待されており、

高齢者福祉

高齢者等の見守りシステムについて

接種の体制整備を行い、安全かつ速やかに接種できるよう準備を進めていく。

問

高齢化が進み認知症高齢者や一人暮らし高齢者が増加する中、見守りシステムを構築していく必要がある。民間警備会社と連携した緊急時の対応や、トイレ利用時のセンサーによる安否確認など、先進的な取組は、財政状況が厳しく人員に余裕がない中では有効な手段であると考えますが、町長の考えはいかがか。

山村町長

既に設置の緊急システムの活用に加え、AIを活用したシステムを構築するとともに、住民の地域での見守りもお願いをし、今後も高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるための地域包括ケアシステムの深化推進を図って行く。

公共交通

広陵元気号の運行について

運行形態の改善策として、南部支線の近鉄高田駅へのアクセスを増便し新年度予算に計上した。また、国保中央病院へのアクセスについては病院のシャトルバスの広域運行に対するニーズが高く、病院とはしお元気村を繋ぐ実証運行が令和3年度から予定されている。

山村町長

ただきたい。また、出来るだけ多くの交通弱者の意見を聞いて今後の計画に生かしていただきたい。



谷 禎一
たに よしかず

観光利用

竹取公園周辺整備について

問
①平成29年から5回にわたり公園西側水田の観光利用（作成図を提示）と佐味田川沿いの道路の拡幅を提案しているが再度提案する。
②中和幹線より公園までの歩道（カラー舗装）を広く整備し、自転車、歩行者が公園へ容易に来園できる整備が必要だ。

理事者

①提案を前向きに検討。道路幅の拡幅を計画。
②「にぎわいの沿道推進」の園路や他ニュータウン内

道路整備

広陵町の幹線道路の整備について

の4車線も2車線化としての整備もよいと考える。

問
①田原本町へ接続の百済赤部線の両側歩道は田原本側では歩道計画は全くない。利用のない河川横の南側歩道の予算を他へ有効利用を。
②真美ヶ丘ニュータウン北部の上田部・奥鳥井線の上牧町への接続は上牧町の計画が廃止される予定。ニュータウン内の抜け道対策としても広陵町の道路と最低歩道、車道の接続が必要だ。

理事者

①交通量も多く、地域住民の要望もあり自転車、歩行者分離し、笠地区より一連の社会資本整備としている。
②町の道路を上牧町道に接続し、道路ネットワークの形成を要望中。

住民財産

町事業の進捗と結果について

問
①西小学校増築で総務文教委員会继续調査の経緯もあり、杭のズレや深さ4mの地盤の掘り返しなどコンサルの安全報告が必要だ。
②管尾準工業地内に町財産（道路、水路、里道）が売価で

1億2千万円あるが、公社は町に返還するのか。町民の財産の有効な処置となるよう会計も明確とすること。

理事者

①杭は10cm以内のズレとなっている。
②同土地は無償提供して公社に依頼。



ささい よしあき
笹井 由明

財政
**令和3年度予算
編成と財政運営
について**

問
① コロナ禍の中、地方財政対策の概要が示されたが、地方税・地方交付税・臨時財政対策債等についてどの程度反映されたものかを問う。
② 地方交付税算定項目に「地域デジタル社会推進費」が創設されたが、本町における取組はどのようなものか。
③ 長引くコロナ禍が予想される中、中期財政計画の見直しと財政見直しについて問う。

山村町長
① 地方税については対前年比4.1%減の約39億9,300万円、普通地方交付税については、事業費補正や公債費の減額が見込まれ、対前年度比1.8%減の23億円、臨時財政対策債については国の見込と同様57.7%増の6億5,920万円を計上している。
② 本町においては「地域デジタル社会推進費」として基準財政需要額に1,000万円を計上しテレワークや窓口の電子化などを推進していく。
③ コロナ禍における経済への影響により、地方税等の減収が複数年に及ぶことが見込まれ、感染対策のための新たな経費の発生も予測される。

農業政策
農業政策について
れる。コロナ感染拡大前の水準に戻るまでは緊縮財政を強いられるものと想定する。一方では、地域活性化のための積極的経済活動施策も必要であり、財政状況を見極めながら取り組んでいく。
問 個人の農業の担い手の減少と高齢化が深刻化している。農地の集約と管理のあり方についてどのように進めようとしているのか。
山村町長 平成28年農業委員会法の改正により、地域ごとに現場で活

動できる農地利用最適化推進委員が新設され、続いて令和元年の改正では「人・農地プランの実質化」が位置づけられた。これらは、地域の長所や課題を、意向調査アンケートやワークショップ等で把握し、解決策や目標、その実現に向けて必要な取組と役割分担などについて農業委員や推進委員がコーディネーターとなり、地域住民の皆さんで話合って策定することでプランを実質化していくとするもので、今年度町内3地区において公表され、今後各地域で進められるよう取り組んでいく。
その他質問事項
○ 町道南22号線の通学路の安全確保について
○ 空家対策について



はるお 春雄
やつお 八尾

町広報 の編集方針について

問 広報こうりょうの編集方針を情報公開制度を活用して請求したが「存在しない」と拒絶された。町内全戸に配布する町の基本的媒体に方針がないとは俄かに信じられない。本年1月号では町会議員である萱野区長の活動が特集で掲載されているが、区長(自治会長)及び町会議員の中に分断をもたらすもので許されない。議員は地位利用を疑われることはやめようというので、区長との兼任を行わないことを既に申し合わせている。

山村町長
最終決裁は私が行った。読者によっては様々な受け止め方があると思うが、特定の議員活動を評価しているという認識はない。

遺跡の保全 箸尾準工業地区 開発について

問 同開発予定地には「周知の遺跡」の存在が知られている。開発に当たっては、法令で定められた事前の調査にとどまらず、試掘も行い保全する義務が課せられている。どのように対応するか。

理事者
町も同様の認識であり、代替地も含め、適切なタイムイン

グで調査(発掘含む)を行い、遺跡の保全に努める計画であり、予算も計上している。



▲奈良県遺跡地図WEBより

マイナンバー カードについて

問 最近、東京都千代田区の「地方公共団体情報システム機構」なる団体から各戸に、マイナンバーカード交付申請書を作成し、川崎東郵便局の私書箱に郵送せよとの書面が届

いている。この機構の理事長は2月末にシステム障害を起こしたみずほ銀行出身で、平理事には総務省への高額接待で問題になっているNTT出身者もいる。広陵町長宛の申請書を神奈川県に送れというのも異様だ。個人情報保護の観点からもEUが定めた一般データ保護規制(GDPR)が注目されている。不当な情報収集を防止するシステムも必要ではないのか。

理事者
町内のカード取得率は25%弱にとどまっているので普及に努めている。GDPRは初見だが、既に法定されている個人情報保護法で対応できる。



ほりかわ 堀川 としのぶ 季延

新型コロナ ワクチン

新型コロナウイルスの現状は

問 ワクチン接種については、本町では2月8日に新型コロナウイルスワクチン接種対策室が設置され、4月12日から始まる高齢者接種に向け取り組みが始まることとなった。 ワクチン接種場所の確保、医師・看護師の確保は進んでいるのか。また、県内におけるワクチン配分の優先順位など、県との連携・協議は現在どの程度行われているのか。寝たきり高齢者等への接種方法はどうのように考えているのか。 ワクチン接種について、コー

ルセンターは未設置（3月15日現在）だが住民からの問い合わせの状況はどうか。ワクチン接種に向け万全の体制で臨んでいただきたい。

理事者

ワクチン接種場所は、さわかホールを拠点に小学校区ごとに1カ所程度の会場を検討している。現在、4月下旬に250人分のワクチンが届く予定だが、希望する数量がこないため、接種券を段階的に配布し、特養施設などの介護施設を優先したいと考えている。「かかりつけ医で受けたい」「接種はいつ頃か」などの問い合わせがある。 今後関係機関と連携をはかりながら、安全かつ速やか

義務教育 制度

公立小学校の35人学級制への移行について

に接種できるよう体制の構築を図っていく。

問 本年、中央教育審議会から公立小学校の少人数学級拡充などの答申があり、1学級35人とする方針が打ち出されている。また、小学5、6年を対象にした教科担任制も導入が考えられている。本町では、増築中の学校もあり、学級が増加することを懸念している。また、ICT支援員や専科教員の確保が必要と思うがどうか。

植村教育長

現在、国の基準は小学校1年生のみ1学級の児童数が35人であるが、奈良県では既に1年生と2年生が35人学級制となっている。今後、順次35人学級制になっていくが、現状の児童数の推移では、35人学級制に伴っての学級数の増加はないと見込んでいる。 教科担任制については、本町では家庭科や音楽、英語科など専門的な知識や技術を有した教員が専科教員として児童の指導に当たっている。 また、ICT支援員も令和3年度に配置する計画である。



おかもと てるたか
岡本 晃隆

学校教育

コロナ禍での学校教育について

- 問**
- ① GIGAスクール構想の進捗状況は。
 - ② コミュニティ・スクールの進捗状況は。
 - ③ 公立小学校の35人学級となることによる教室確保は。
 - ④ コロナ対策の中で、児童生徒の健康観察やいじめや虐待防止の取組は。
 - ⑤ 広陵放課後塾の対象児童と定員は。

植村教育長

① 令和3年1月から、各学校で、段階的に利用を始めています。本格的な活用は、令

和3年度からとなる。家庭のインターネット環境整備は、基本的に各家庭での整備をお願いする。要保護、準要保護世帯には、支援金での援助を検討している。

② 令和3年度に全小中学校で立ち上げ、地域における学校として、また学校運営等について協議を進めていく。

③ 現状の児童数推移では、学級数の増加はないと見込んでいるため、教室の不足は生じない。

④ 健康面は、毎日の健康管理カードで確認。いじめは、アンケート等を行っているが、増加は見られない。虐待については、関係機関と情報共有を図り、必要な対応が迅速にできるように生

活観察に努めている。

- ⑤ 令和3年度は、全ての小学校で、3年生を対象に、1学期を準備期間とし、2学期から実施する方向で進めている。定員は設けていない。

町づくり

安全なまちづくりに向けた取組について

- 問**
- ① SDGs未来都市計画に基づいた「持続可能なまちづくり」を考える機会を、いかに創出していくのか。
 - ② 各区自治会の危機管理をどのように推進していくのか。

山村町長

① 広陵町産業総合振興機構「なりわい」の活動により、産業創出、地域事業者の経営基盤強化の機会を創出する。また、シンポジウムの開催や未来都市計画の各施策についての推進を図っていく。

② 校区単位での防災訓練を計画している。特に、災害時要配慮者への避難支援活動を重点的に実施し、自主防災組織単位での継続した訓練実施や、地区防災計画及びマイ・タイムラインの作成促進も図っていく。



やまだ 山田 みつよ 美津代

検査体制

PCR検査を町民が何度も受けられる体制を

問 今、大阪府ではモニタリング検査を民間検査会社などで実施している。これをモニタリングではなく町民がコロナかどうか心配な方や、親の介護を兄弟で交代でしなければならず検査を受けて介護をしたい方などが、いつでも何回でも無償で受けられるよう、町が民間検査会社と連携しておこなうことが必要ではないか。

山村町長

症状がない方に対し臨床的判断に基づかない検査の実施はしない。

高齢者福祉

高齢化による難聴者への支援を

問 高齢になると耳が聞こえづらくなり、ほっておくと認知症が進んでしまうことは、WHOでも厚労省でも危惧されている。補聴器への支援を実施する自治体が増えていく。町でも支援すべきである。また、福祉課窓口にあるループヒアが聞き取りやすいので各課に置くべき。磁気ループも設置すべき。

理事者

磁気ループは県が貸し出しを始めるので設置の必要性はない。ループヒアは各課の必

要件を見て設置を進めたい。福祉部に言語聴覚士の資格者はいない。またネットワークを作ったの難聴者の支援体制の構築は考えていない。

ジェンダー

ジェンダー平等社会への町としての取組は

問 女性蔑視発言により森元総理は五輪組織委員会会長を辞任した。五輪の精神やSDGsに掲げていることに反すると多くの批判が出された。日本の「男女平等ランキング」は153カ国中121位で恥ずかしい限りだが、町として男女平等をどう進めていくかビジョンは。

理事者

教育が大事なので、小学校で「LGBTに対する理解」の講座や男女共同参画出前講座を実施。

また、町内事業者5社にアドバイザー派遣して、女性が働きやすい職場づくりの促進、子育て中の方対象に「働くママセミナー」など実施。



あおき よしかつ
青木 義勝

**安全な学
安通**

通学時の安全確保の現状と課題

問 新生も通学する通学路での事故及び不審者から守るため、学校と関係機関との連携の現状を問う。

- ① 小学校は集団登校か。下校時及び見守りの把握の現状。
- ② 交通事故発生状況。
- ③ 不審者情報の周知の手段。
- ④ 中学生の指定通学ルートへの順守状況。
- ⑤ 中学生の自転車の安全指導。
- ⑥ 寄り道、たむろ情報の対応と指導は。

植村教育長

① 5校全て集団登校。下校は学年単位。見守りはPTA、

**元気な場
元市**

**はしお元気村
新OPENの詳細を**

- 教職員、地域の方々の支援で実施。
- ② 軽微な事故10件。
 - ③ 警察と学校より保護者にメールで連絡。
 - ④ 順守の徹底指導。
 - ⑤ 警察のシミュレーターで安全教室を実施。
 - ⑥ 急行し各機関と連携で迅速適切に指導する。

問 昨年、来春開場との予告があり町民もカフェもでき、

買物も便利になると待望されている。この施設は箸尾駅、馬見丘陵・竹取両公園に近く、法隆寺と京奈和田原本北イン

ターに接続し、企業誘致の箸尾準工地に隣接し、関係人口増加での消費の受け皿と期待している故、管理者と町民視点での協議が不可欠である。内容の詳細を問う。

山村町長

4月9日に開場し、今迄の品数に加え食料品、靴下等、カフェスペース及びふれ合いサロンも、町民が自由に利用できる休憩所及び情報提供と発信の拠点となる「まちの駅」として全国組織に登録して、「まちの駅広陵・はしお元気村マルシェ」と命名した。

北幼稚園跡

**北幼稚園跡の長
龍酒造(株)の憩
のゾーンは**

問 当初、令和3年4月開場との予告があり、私も議会レポートで周知したが、コロナ禍での遅延は承知していたが、周辺町民の「楽しみに待っているのに、いつ頃できるの」との声が多くある故、当初会社と合議の結果、成約に至った経緯を踏まえた合議事項との差異の有無及び開場予定日を問う。

山村町長

コロナ禍で、社会環境の変化があるが、本事業の本町との契約特約を遵守して、社会情勢を見極めつつ事業計画を進める。基本コンセプト及び地域活性化の寄与部分の変更はない。令和4年4月開場予定との報告を確認した。



ちぎた しんや
千北 慎也

学校給食

食育の現状と オーガニック給食 導入について

問 食べることは生きることの基本であり、学校給食を通じた食育は重要だと考える。広陵町における食育の現状は。

植村教育長

令和2年度に文部科学省から指定を受け、北小と広中で「つながる食育推進事業」を実施した。食育指導を行ったクラスでは、残食がゼロになった日もあった。

問 オーガニック給食はフランスやイタリア、韓国、また、日本でも千葉県いすみ市など

で推進されているが、本町でも導入してはどうか。

理事者

食材調達の安定性の確保や費用面での課題はあるが、何か特定の素材からでも実現できないか、調査研究するように打診している。

問 オーガニック給食が実現すれば、町のPRともなり、移住促進につながると思うが、そういった観点からの予算措置は可能か。

理事者

移住先を選択するための一つの要素にはなると考える。

問 食育等の取組について、ホームページなどを通じた町外への発信にも力を入れていただきたいがどうか。

理事者

実現にむけて取り組む。

農業振興

「広陵いちご」 のブランド戦略 について

問 広陵町はいちごの産地復活に力を入れている。特に、「古都華（ことか）」に力を入れている農家が多いようだが、近隣市町村で「古都華」が広陵町産のものより安く販売されており、ブランド化戦略を考え、差別化する必要があると思うがどうか。

理事者

「広陵町産」という地域ブランドの確立が必要だと考えており、かぐやちゃんのシールをいちごのパックに貼っている。また4月には、なりわい主催の「ストロベリータウン広陵」が実施される。

問 同じ品種でも差別化している例がある。御所市の「はんだ米」はヒノヒカリだが、うまくブランド化されている。まずはトップセールスでのブランドの確立、PRが必要だと思いがどうか。

山村町長

おいしいいちごを全国に広めるため、様々な方に食べてもらえるように努める。



よしむら **吉村** まゆみ **眞弓美**

デジタル化
地域未来構想20
オープンラボに
登録を

問 国においては、自治体のまちづくり施策に民間の専門家の知識、経験を活かし、また、国の諸施策の連携を促すことで、地方改革を大きく進めていこうとする試み「地域未来構想20オープンラボ」が開設されている。広陵町としても、エントリーし、柔軟な行政事務と強靱なまちづくりに備えてはいかがか。

山村町長

広陵町でも2月末に申請し、現在、内閣府において審査中である。申請が受理された

場合にマッチングを希望する分野としては「スーパーシティ構想」「防災IoT」「行政IoT」を想定し準備を進めている。

問 Society 5.0の全体像はいつ頃明らかになるのか。

理事者

国が募集しているスーパーシティ構想の締め切りが4月16日で、現在、提出資料を作成している。その中で全体像が描かれることになる。広陵町としては、全体像がこうなつて、未来にはこんな絵が描けますということを示したうえで、当面は急ぐ分野について先行的に進める。

問 高齢者やデジタル機器に不慣れな方への配慮として、デジタル活用支援員事業の取組をお願いする。

理事者

今年も募集が行われるようであれば応募する。

社会福祉
KOCOBizと
社会福祉協議会の
連携は

問 社会福祉協議会を強化するのにも、弱体化するのも、要は人で決まる。力ある人材を雇用し強化をはかってほしいが、今は人件費を町で補っているのが現状である。町に頼ることなく、KOCOBiz

のサポートを受けながら、自ら強化をはかることができ、自立した社会福祉協議会を目指してほしい。

山村町長

収益事業で得た利益で地域福祉事業や組織運営を担う人材を雇用することはできない。収益を得ることが、すなわち社会福祉協議会の強化につながるものではない。

KOCOBizで組織運営上のヒントや人材の強化等についての助言をいただきながら、町としても体制強化を支援してまいる。



やまむら みさこ
山村 美咲子

**公民館
公建**

**中央公民館建替え
について**

問

- ① 検討委員会の進捗状況と今後のスケジュールは。
- ② 「公共施設等の再編計画」とは切り離して考えていく方針に変わりはないか。
- ③ 文化芸術基本法による「地方文化芸術推進基本計画」の策定及び「文化芸術推進会議」の設置について、広陵町の取組は。

山村町長

- ① 今年度末に基本方針の策定を予定している。先進的運営施設を視察する。

**ワクチン
接種**

**コロナウイルス
ワクチン接種の
体制について**

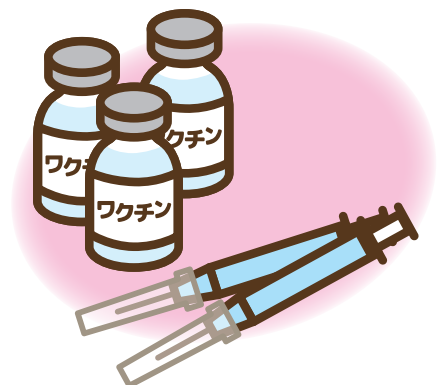
- ② 「公共施設再配置計画」とは別の枠組みで、公民館の建替え等の議論・検討を行う。
- ③ 令和3年度中の計画策定を進める。

問

- ① 医師の確保、看護師・役員等の確保、また接種後の副反応の対応については万全か。
- ② ワクチンの接種順位の方針は。
- ③ コールセンターは、住民からの問い合わせに対応できるのか。

山村町長

- ① 医師会を通じて、医師・看護師の協力を依頼し、契約等の調整をしている。集団接種会場の各業務は業者委託を考えている。副反応の対応は万全の体制を整えていく。
- ② ワクチン量に応じて、施設入所者等限定された人数での接種となる。
- ③ 3月下旬に立ち上げ、対応していく。



委員会の窓

総務文教委員会

議案第1号 広陵町自治基本条例の制定について

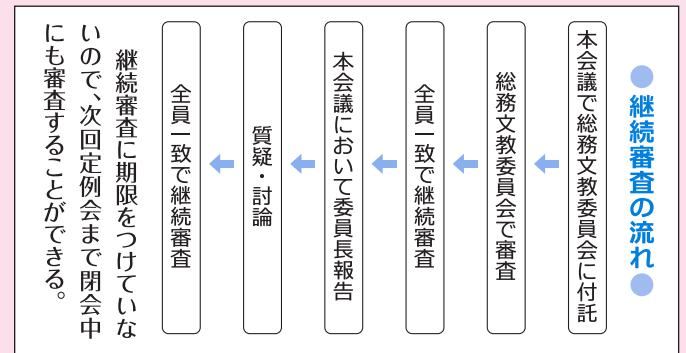
質問 自治基本条例を住民に周知させるための具体的な計画は。

回答 広報誌で自治基本条例に関する連載を行う予定である。その他の広報計画については、大まかな方向性は決まっているが、具体的にはこれから検討していく。

質問 第40条の広陵町自治基本条例推進会議のメンバーや会議の内容及び設置時期は。

回答 作成検討中。
本条例の具体的な周知方法や必要な予算、第40条の広陵町自治基本条例推進会議の設置時期など、理事者側の準備不足のため審査が十分にできず、全員一致で閉会中の継続審査とした。

● 継続審査の流れ ●



全員一致で継続審査すべきものと決しました。

議案第2号

議案第2号 広陵町総合計画審議会設置条例の制定について

質問 総合計画策定の懇話会と総合計画審議会の役割の違いは。

回答 懇話会は、町長の私的諮問機関で、自由な意見を述べていただくもの。審

議会は、地方自治法に基づいて、より深い内容について審議いただくもので、それぞれの分野ごとの方を中心とした委員構成となる。

全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第10号

議案第10号 広陵町消防団条例の一部を改正することについて

質問 公務災害補償が対象とされる始まりと終わりは。

回答 消防団員の公務災害補償は消防団長から招集があったとき、または団員が火災を認知したときから、火災終了までが対象である。

全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第13号

議案第13号 令和2年度広陵町一般会計補正予算(第10号)について

質問 会計年度任用職員の

人数及び報酬が減少している理由は。

回答 勤務時間の減少や人員未確保、途中退職があったためである。

質問 西校区放課後子ども育成教室整備事業の地質調査費用(15mを2カ所)は当初は511万5,000円で見込んでいたが。

回答 入札により214万5,000円で当初契約。その後、減少分があり最終的に191万円で契約。内容はおおむね変更はない。

全員一致で可決すべきものと決しました。

第1回定例会（3月議会）に上程され、総務文教委員会・厚生建設委員会に付託された20件について審査を行いました。その結果は本会議に上程され採決されます。その主な内容と結果をお知らせします。

厚生建設委員会

議案第4号 広陵町ま

らん煙（受動喫煙）から健康を守る思いやり条例の制定について

質問 過料という罰則の条例化についての施行にあ

たっては、慎重に進めていただきたい。学校周辺等の禁止区域においての表示など、具体的な周知方法は。

回答 過料については、指導の範囲で終わると考えて

いる。具体的な周知方法としては、わかりやすい文言のポスターを掲示するよう検討している。また、状況を確認し、声掛け等を実施する予定である。

賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第5号 広陵町立幼

稚園預かり保育条例の一部を改正することについて

質問 土日祝日は450円で受けていただけるのか。

回答 土曜日、日曜日、祝日、お盆の8月14日～16日、年末年始は12月29日～翌年1月5日まで実施しない日として規則で定める予定。

全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第8号 広陵町介護

保険条例の一部を改正することについて

質問 現在の介護保険制度の仕組みでは、国・県・町の基本線が5割、被保険者が5割になっている。その割合を変更しない限り住民負担は進む。国の介護行政が後退し、値上げをしないと持たないという現状の中、今後の考えは。

回答 高齢社会を迎えるにあたり、後退か前進かと言われると難しいところではある。現在は介護保険サービスがなければ、社会が維持できないという状況であ

り、必要不可欠な制度である。今後の展開について、町としても国のほうに財政支援を求めていく行動をとっていかねばならないと認識している。

賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第25号 広陵町第8

期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画を定めることについて

質問 第8期以降のなかで施設サービスクの値上げが可能となったのか。

回答 詳細を確認しないとわからないが、令和3年4月に基本報酬の改定があるのが要因と思われる。

賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第27号 広陵町都市

計画マスタープランの一部を改訂することについて

質問 都市計画審議会の中

で、上田部・奥鳥井線の馬見北9丁目から西側の上牧町への都市計画道路の計画がなくなるといった話が出た。上牧町に確認したところ、「広陵町より道路を貫通させてほしいとの要望があるが、上牧町としては町内の情勢から道路を設けるのは厳しい。」と回答し、広陵町も了承した。」との経緯を初めて知った。町として上牧町に積極的に工事をしてもらう必要があるのではないか。

回答 広陵町としては残念だが、都市計画道路だけが道路事業ではないので、上牧町の意見を尊重し了承した。今後については、上田部・奥鳥井線の現道拡幅等の道路整備事業として検討していただきたいという要望を続け、住民への周知のタイミング等についても検討しながら進めていきたい。

全員一致で可決すべきものと決しました。

議会口誌



2月
 9日 北葛城郡町議会議長会総会
 24日 国保中央病院組合議会
 25日 全員協議会

3月
 2日 議会運営委員会
 常任委員長会

8日 第1回定例会(招集)

11日 県町村議会議長会定期総会

12日 第1回定例会(2日目)

15日 第1回定例会(3日目)

16日 第1回定例会(4日目)

17日 総務文教委員会
 厚生建設委員会

18・19日

予算審査特別委員会
 議会運営委員会

24日 第1回定例会(最終日)

30日 第1回広報編集委員会

4月

6日 第2回広報編集委員会

15日 議会運営委員会
 第1回臨時会

16日 第3回広報編集委員会
 議員懇談会

26日 議員懇談会



3月定例会

令和3年5月1日

発行/広陵町議会 編集/議会広報編集委員会 〒635-8515 奈良県北葛城郡広陵町大字南郷583番地 TEL0745-55-1001 FAX0745-55-1165



議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議員または事務局員が写真撮影に伺うことがございます。その際は、どうぞご理解とご協力をお願いいたします。



編集後記



初夏の風に頬なでられ揺れるチューリップが美しく咲いています。チューリップの花言葉は『思いやり』、そして思いやりとは、他人の身の上や気持ちに配慮すること、と辞書にはありました。

さて、令和2年度を振り返ったとき、やはりコロナ禍における生活変化を抜いては語る事ができません。仕事や学習、家計において厳しい影響を受けるとともに、働き方、学び方、過ごし方など私たちのあらゆる日常に、そして価値観にも大きな変化をもたらされました。

そして、この「変化」のときにこそ大切になるのが『思いやり』ではないでしょうか。それは一方的な思いではなく、お互いの思いを知り、受け入れ、確認し合ったうえの『思いやり』です。

議会も皆さまの声やご意見をいただき、自治体行政に反映させるとともに、「議会だより」を通してわかりやすい情報の提供を、これからも心掛けてまいります。

今後とも何卒よろしくお願い致します。



- 広報編集委員会
- 委員長 吉村 裕之
 - 副委員長 山田 美津代
 - 委員 千北 慎也
 - 委員 吉村 眞弓美
 - 委員 岡本 晃隆
 - 委員 青木 義勝

